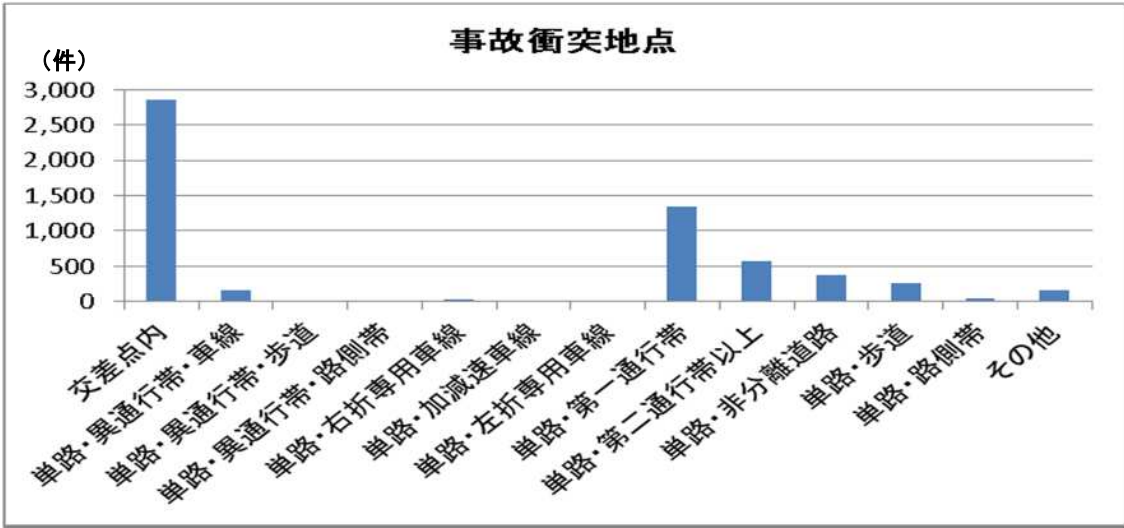
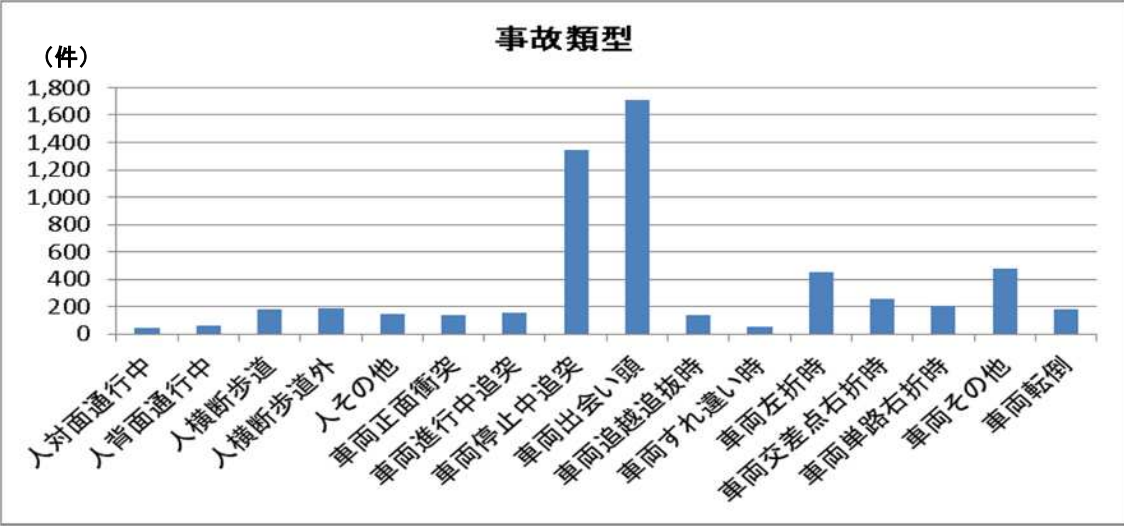


データからみる交通事故の傾向

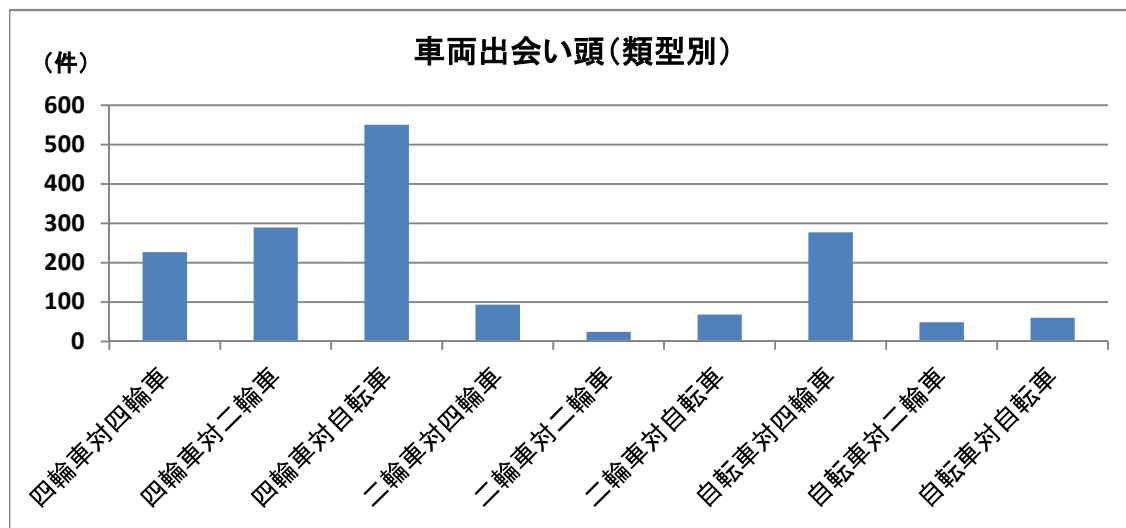
(西宮市における平成26～28年の全交通事故データによる)



衝突地点では、**交差点内の事故が全体の約50%**を占めています。
 次いで、単路・第一通行帯が多く、この2つを合わせると約72%に上ります。



事故類型では、車両(バイク、自転車を含む)同士の**出会い頭の事故が約30%**、車両停止中の追突が約24%で、この2つで半数以上を占めています。
 特に、出会い頭の事故については、大部分が信号機のない交差点で発生していると思われるため、一時停止標識のある交差点では必ず停止線の手前で一時停止するようにしてください。また、優先道路を走行中であっても、見通しの悪い交差点を通過する際には、急に自転車や歩行者が飛び出してきても、すぐに止まれるような速度で運転するように意識してください。



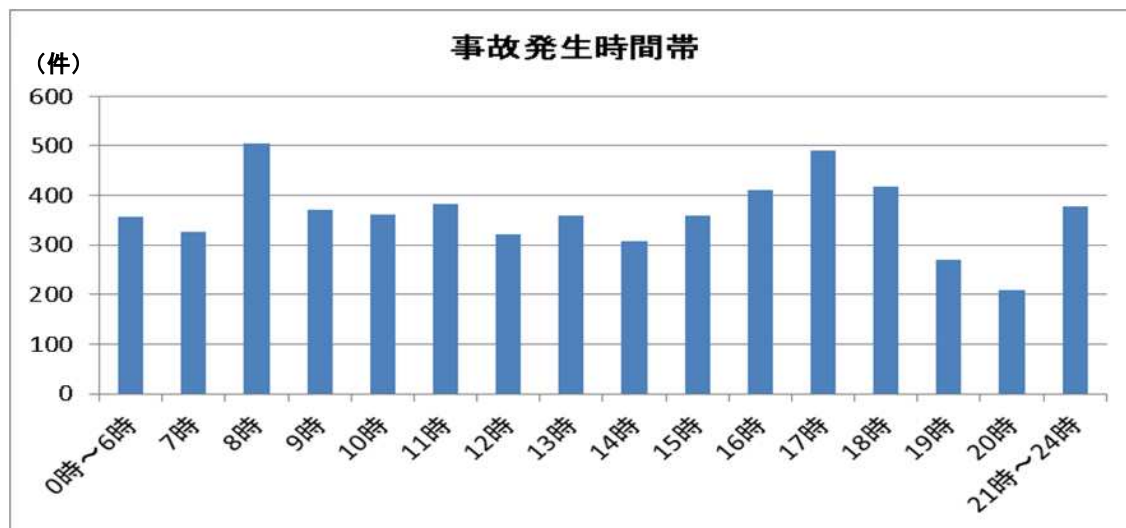
左のグラフでは、車両(バイク、自転車を含む)同士における出会い頭の類型別の交通事故発生件数を表しています。

特徴として、四輪車と自転車に関係する事故が全体の**約50%**を占めています。この中で、自転車が第1当事者(加害者)となる割合が**約33%**となっています。

自転車利用者は、特に見通しの悪い交差点では、一時停止をするようにしてください。

【グラフの見方】

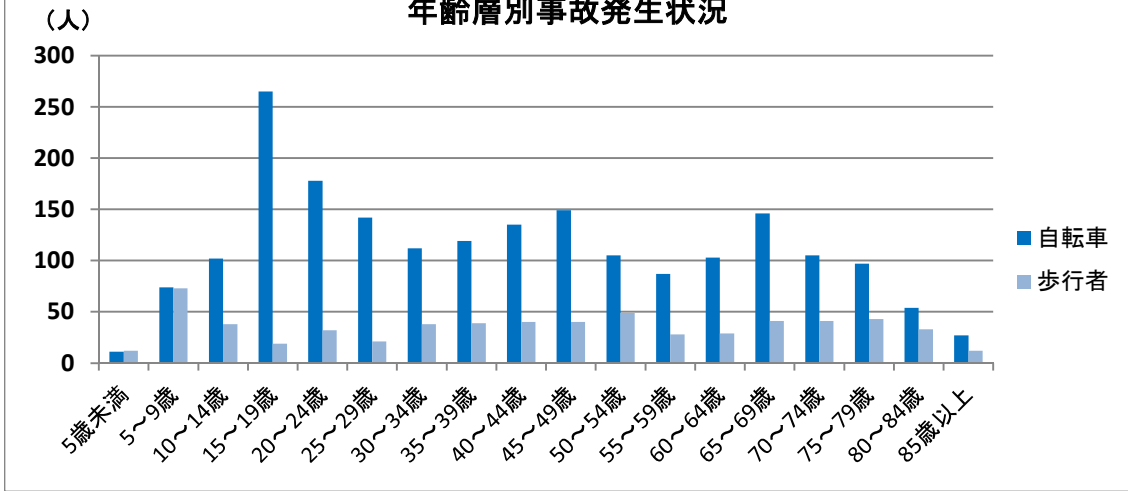
例) 自転車対四輪車…前者が第1当事者(加害者)、後者が第2当事者(被害者)



事故発生時間帯では、通勤・通学時間帯である**8時台と17時前後**が多くなっています。

朝の時間帯は、自転車利用者は信号遵守やスピードを控えた運転をお願いします。また、夕暮れ時は、視認性が低下する時間帯であるため、ドライバーは早めのライト点灯を歩行者はドライバーから目立つ明るい服装を心掛けたり、車のライトで光る反射材を活用するようにしてください。

年齢層別事故発生状況



左のグラフでは、自転車と歩行者が関係した年齢層別の対車両との交通事故発生状況を表しています。

特徴として、**自転車の15~19歳**が急に増えています。これは主に高校生で、自転車通学をする人数が増えたことが原因であると思われます。

歩行者については、**5~9歳**が一番多くなっています。これは、小学生になって一人で外出する機会が増えたことが関係していると思われます。また、**65歳以上の高齢者**が全体の約27%を占めています。これは、加齢等による身体機能の変化によることが原因であると思われます。